3 注意事項

東リ製品を長く気持ちよくお使いいただくために。

特に注意する事

床材には、その素材特有の性質があります。その結果、他の素材とは異なる問題が発生する場合があります。
以下の事例を参考に、事故がおこらないよう、事前にご注意下さい。

選択上のご注意

1 荷重によるへこみ

ゴムが摩滅したピンヒールによる歩行や重量物など、局部的に過度の荷重がかかると、高分子系床材にへこみが生じる事があります。へこみ跡は回復せず残るため、そこに汚れが溜まって見苦しくなったり、破損の原因となる事があります。床材を選定する際は使用される環境を充分考慮し、凹凸のあるものなどへこみ跡が目立ちにくい床材をお選び下さい。



2 キャスターの往来による床材の膨れ

キャスターの往来は、歩行とは異なった負荷を床材に与え膨れや破断が生じる事があります。重量と車輪の大きさ、形状、硬さによって影響は異なりますが、接地面積が小さく硬いキャスターが往来する場所では注意が必要です。特に最近では、双輪キャスターのベッドや事務椅子による床材の膨れの報告が増加しています。(525頁)このような場所では、耐動荷重性のある床材を選択し、乾燥した強固な下地に耐湿工法用接着剤で施工して下さい。



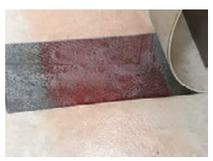
施工上のご注意

1 タイルカーペットの臭気

コンクリート系下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分(高周波水分計HI-520-2型D.MODE測定値で440以上が目安)があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が分解して、異臭(アルコール系)が発生した事例があります。施工前に、必ずコンクリート・モルタル水分計「HI-520-2(499頁)」で下地湿気を確認し、下地湿気が高い場合は、充分乾燥させて下さい。

2 下地汚染

下地にワックス、グリス、油類、塗料、防蟻剤、防腐剤、アスファルト系接着剤(黒糊)、油性マーカー、オイルステン、塩ビ配管用接着剤、朱墨、カラー釘等があると、接着不良や床材を着色する可能性があります。施工の前に完全に除去した上で施工を開始して下さい。



3 養生テープによる汚れ

これはカーペットにも見られる事故です。施工中や施工後、貼上がった床面を保護するために、養生シートで覆います。このシートをとめる養生テープによって床材表面が着色汚染される事があります。養生シートの上からも汚染されるので、こういった事故の原因となる養生テープは使用を避けて下さい。

■養生テープによる汚染の可能性を調べる方法

カーペット →残材のパイル表面を水で濡らし、養生テープを貼り24時間後剥がして変色の有無を見る。

ビニル系床材 →残材にテープを貼り24時間放置後剥がし、さらに太陽光線にあてて、変色の有無を見る。

メンテナンスならびに使用上のご注意

1 ゴム汚染

ある種のゴムに接すると、ゴムに配合されている成分がビニル床材に移行して茶色や黄色に変色させます。原因はゴム素材の成分にあるといわれ、対策方法としては、ゴム汚染の有無をゴムを使用している什器メーカーなどに確かめてからご利用いただく事です。このゴム汚染は、短時間接しただけでも発生し、しかも原因となる什器類を除去後、数日経ってから発生する場合もあります。ベニヤ板等で遮断し、床材とゴムが直接接しないようにする事で防ぐ事ができます。



2 ブラックヒールマーク

ゴム底靴で歩行した際に、靴底が摩擦熱で溶け、消し炭をこすりつけたような跡が残ります。これをブラックヒールマークといいます。お互いが溶着した状態なのでこすり取ったり洗剤などで除去する事が困難なケースもあります。NW製品をご使用、もしくは、事前にワックスを塗布してあれば、布拭きや水拭きで取除く事が可能です。



3 アルコール白化

メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。アルコールによってワックス皮膜が白化しているので、白化したワックス皮膜を剥離する事で解消します。また、白化を抑制する耐アルコール性ワックスをご使用下さい。



4 吸水白化

長時間、水に濡れた状態が続くと床材表面が白化する場合があります。植木鉢の下など、湿気がこもる状態も注意が必要です。乾燥させる事で解消していきますが、吸水の状態によっては完全に元に戻らない場合もあります。床材が長時間水に接する状態は避けて下さい。



双輪キャスター型スイング式電動ベッドのご使用に際しての注意事項

近年、スイング式電動ベッドの不適切な使用により、床材に不具合を生じる事例がおきています。
トラブルを最小限に抑える為、適切な施工方法をご選択いただくとともに、以下の現象に関する配慮をお願いいたします。

不具合の現象と原因

① 電動ベッドを移動させる際に双輪キャスターのロックを外さず無理に動かすと、床面に大きな負荷がかかり、床材を破損したり、膨れが生じたりするおそれがあります。

② 電動ベッドはシャフトにより昇降する際、前後にスイングする為、ベッドが壁に接触しているとベッドが壁を押す事となり、その反動でベッドは押し出される状態となります。この時、双輪キャスターがロックされているとキャスターに強い力が加わり、床面を無回転で横移動する状態となって、床材に膨れや破損等の不具合が発生してしまいます。特にシート系床材は、その特長から適度な軟らかさがあり、不具合がおこりやすい事がわかっています。

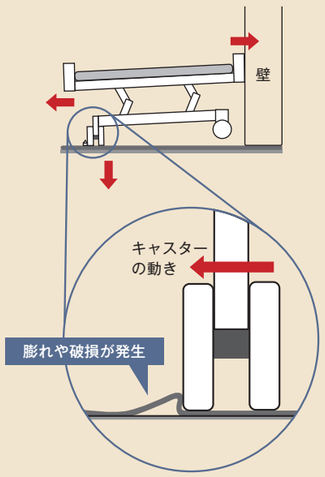
ヘッドボードを壁に接してベッドを設置している。

↓

そのまま上昇、下降させると、ベッドが壁を押し、その反動でベッドは押し出される状態となる。

↓

双輪キャスターがロックされていると
ロックされた無回転のキャスターにより、床材に大きな負荷がかかり、膨れや破損が発生してしまう。



対策

●電動ベッドを移動する際は必ずキャスターのロックを外す、壁から適切な距離を置いて設置する等、ベッドの取扱い上の注意を遵守して下さい。

●シート系床材を施工する場合は、下地湿気の有無にかかわらずエポキシ樹脂系接着剤、ウレタン樹脂系接着剤をお使い下さい。

※ただし、これらの対策も床材の膨れ、破損を確実に防止できるものではなく、あくまで問題の発生を軽減する方法の一つとしてご認識下さい。